

科 目	時間数	授業全体の内容の概要	修業修了時の達成課題(到達目標)
人間の尊厳と自立	5	人間の尊厳の保持と自立 利用者の権利擁護	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本理念を理解している。
社会の理解 I	5	介護保険制度	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。
社会の理解 II	30	生活と福祉	家族、地域、社会との関連から生活と福祉を捉えることができる。
		社会保障制度	社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得している。
		障害福祉	障害者総合支援法制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。
		介護実践に関連する制度	成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。
介護の基本 I	10	介護福祉士制度	介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務等を理解している。
		尊厳の保持と自立にむけた介護	個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。
		介護福祉士の倫理	介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。
介護の基本 II	20	介護を必要とする人の生活の理解と支援	介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。
		介護実践における連携	チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。
		介護における安全の確保とリスクマネジメント	リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。
		介護職の安全	介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。
コミュニケーション技術	20	介護におけるコミュニケーション技術	利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。
		心身の状況の理解とコミュニケーション	援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。
		介護におけるチームのコミュニケーション	状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報提供の共有化ができる。
		生活支援とICF	生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している。
		ボディメカニクスの活用	ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。

生活支援技術 I	20	介護の基本技術と福祉用具の活用	介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)を修得している。
		環境整備	居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・
生活支援技術 II	30	心身の状態に合わせた介護・福祉用具等の活用・環境整備	以下について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。 移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠 ターミナルケアの考え方、対応の仕方・留意点、本人・家族への説明と了解、ならびに介護職員の役割や他の職種との連携(ボランティアを含む)について、事例に基づいて説明できる。
介護過程 I	20	介護課程の基礎知識	「介護過程」の目的、意義、展開等を理解している。
		介護過程の展開	介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。
		介護過程とチームアプローチ	チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解している。
介護過程 II	25	介護過程の展開の実際・・・情報の収集から計画の立案まで 介護過程の展開の実際・・・実施から計画の見直しまで	情報収集、アセスメント、介護計画立案、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。
介護過程 III	45	介護過程の展開・演習・評価	実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種・他機関との連携を行うことができる。知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。
発達と老化の理解 I	10	老化に伴うこころの変化	老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。
		老化に伴う身体の変化	老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。
発達と老化の理解 II	20	人間の成長・発達	発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。
		老年期の発達課題・心理的な課題	老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)と支援の留意点について理解している。
		高齢者に多い症状と疾病、その留意点	高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。
認知症の理解 I	10	認知症ケアの理念	認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。
		認知症の心理・行動の理解と対応	認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。

		当事者・家族への支援	認知症の人やその家族に対するかかわり方の基本を理解している。
認知症の理解Ⅱ	20	認知症の医学的理解	代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。
		認知症の人のアセスメント・支援	認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。
		認知症ケアの地域サポート体制	地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
障害の理解Ⅰ	10	障害者福祉の理念	障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。
		障害の定義、生活上の困難と心理・行動	障害(身体・知的・精神・発達障害・難病等)による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。
		障害児・者と家族との関わり・支援の基本	障害児・者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。
障害の理解Ⅱ	20	医学的側面からみた障害の理解	様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。
		障害者への支援の実際	障害児・者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
こころとからだのしくみⅠ	20	介護に関係したからだのしくみの基礎的な理解	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している。
こころとからだのしくみⅡ	60	人間の心理	人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。
		人体の構造と機能	生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。
		具体的事例に基づく介護技術の理解	身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。
医療的ケア	50	医療的ケアの基礎知識 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順	医療的ケアを安全に実施するための基礎的知識について理解している。医療的ケアに関連する法制度や倫理等を理解している。感染予防、安全管理体制等についての基礎的知識について理解している。
医療的ケア〔演習〕	15	医療的ケア演習	介護職としてたんの吸引という医療行為をするための制度上のしくみを理解できる。たんの吸引に必要な物品をそろえられ、適切に扱える。たんの吸引の実践において、適切な手順で行うことができる。経管栄養の実施の流れを理解し、実践に必要な技術が適切にできる。経管栄養に必要な器具・器材のしくみと清潔の保持を理解し、適切に扱える。経管栄養の手順と評価について理解できる。救急蘇生法や救命処置の必要性・手順を理解し、適切に実施できる。